特集 1 国内外の官・民・産業団体との協力体制の構築

海外の産業団体、国内の金融機関、地方公共団体と覚書を締結し、海外の産業人材育成支援および中小企業の海外展開支援における業務連携、協力体制の構築を進めました。また、日本政府と各国との貿易投資促進等の覚書の中にAOTSによる支援が言及され、AOTSは政府とともに産業人材育成の取組を進めています。

台湾の経営者団体(ＩＭＣ)と覚書締結

2017年11月4日、AOTSは台湾国際工商経営研究社連合会(IMC)との間で産業人材育成および経済交流分野における協力に関する覚書を締結しました。本覚書の締結は台湾彰化県で同日行われたIMCの年次総会に合わせて行われたもので、締結式では600名を超える参加者が見守る中、楽山理事長および陳淵IMC理事長が署名しました。

本覚書では産業人材育成および経済交流を通じて日本と台湾相互の経済発展ならびに友好関係の増進に寄与することを目的としています。台湾産業界の技術力や経営管理能力等を向上させ、持続的な成長に寄与すべく、IMC、AOTS双方の枠組みと知見を活用した共同事業を推進することを旨としています。覚書締結後、IMCの協力のもと、低炭素化技術移転を目的とした事業において、台北、台南、台中で環境経営とCSR/CSV経営をテーマとした研修を実施しました。

インド自動車部品工業会(ACMA)と覚書締結

2018年1月31日、AOTSはインド自動車部品工業会(ACMA)とインドの産業人材育成における業務提携覚書を締結しました。ACMAは、インド国内の自動車部品製造業による収益の85%以上を創出する780以上の製造業者が在籍しています。

AOTSおよびACMAは、これまでも10年以上もの間、人材の技術力育成のために協働してきました。今回の覚書提携で更に、AOTSとACMAが協力し、日本・インド両国の未来のビジネスチャンス拡大に向けた連携を進めていきたいと考えています。

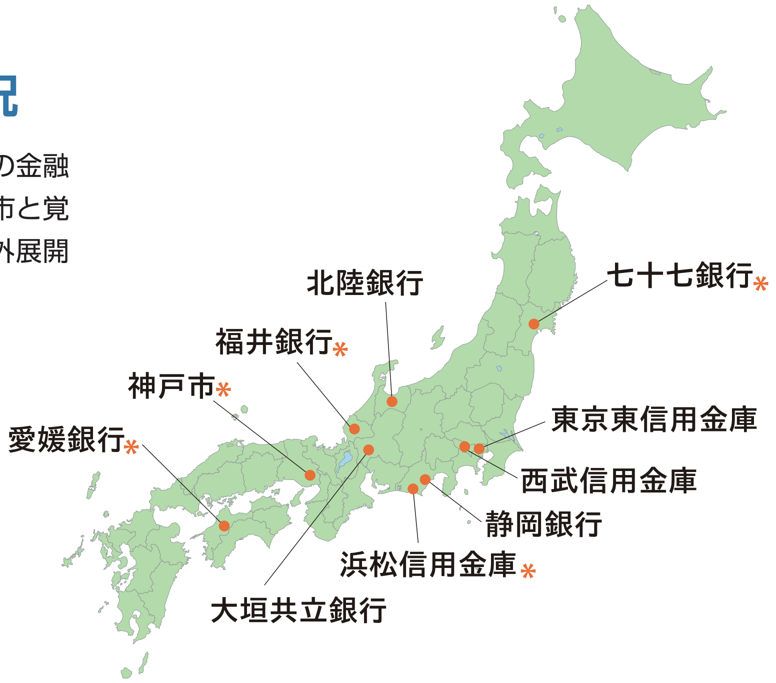
メキシコ競争力センター(CCMX)、メキシコシティ同窓会と覚書締結

2018年11月3日、AOTSはメキシコ競争力センター(CCMX)、メキシコシティ同窓会との三者包括的協力覚書を締結しました。CCMXは、主に中小企業の生産性向上支援を目的とする団体です。今後、来日研修への参加者募集、ビジネスプロモーション事業等で連携を強化していくことで合意しました。

覚書締結後、2018年1月に実施したメキシコ生産管理研修コースでは、CCMXが中心に参加者募集を行い29名が日本での研修に参加しました。

日本国内の金融機関、地方公共団体との連携状況

2017年度は、従来から連携をしていた5つの金融機関に加え、新たに4つの金融機関および神戸市と覚書を締結し、日本各地の中堅・中小企業等の海外展開を支援する体制を強化しています。
（＊ 2017年度締結）



日本とアルゼンチンとの間の貿易と投資の強化に関する協力のためのロードマップ2017

マクリ・アルゼンチン大統領の訪日に際し、経済産業省およびアルゼンチン共和国工業生産省は日本アルゼンチン貿易投資合同委員会を設置し、「日本とアルゼンチンとの間の貿易と投資の強化に関する協力のためのロードマップ2017」を作成しました。

（ロードマップより抜粋）
1．投資促進　（5）技術協力の推進

HIDA* は、アルゼンチンに投資した日本企業 およびビジネスパートナーの経営スキルを強化し生産性を向上させることを目的としたアルゼンチンの経営幹部のためのセミナーを2017 年度に日本で開催する。
日本国経済産業省（METI）とアルゼンチン共和国工業生産省（MOP）は、アルゼンチンにおけるHIDA の活動（ベストプラクティスの交換、人材育成）を支援する。
*旧AOTS

第三国におけるエネルギーインフラ協力支援にかかる経済産業省と米国貿易開発庁との間の協力覚書

日米首脳会談において、米国との間でエネルギーおよびインフラ協力を進めて行くことが確認されました。
経済産業省と米国貿易開発庁との間で、第三国におけるエネルギーインフラ開発支援、インフラ調達制度の構築支援および情報交換等に関する協力覚書が署名されました。

（協力覚書 より抜粋）
第2条　両参加者の協力
2．経済産業省は、以下を意図する。
（c）日本の一層の商業的な参画の拡大および新興市場の第三国における現代的なエネルギーインフラ開発を支援するための協力を促進する、日本貿易保険および**一般財団法人海外産業人材育成協会**等の日本国政府・機関及びその他の貿易・経済関係機関等と協力するとともに、
（d）新興市場の第三国における持続可能なインフラ開発につながる重要なエネルギー関連インフラの取組に際し、民間セクターの知見とリソースの活用を日本の産業界へ依頼する。

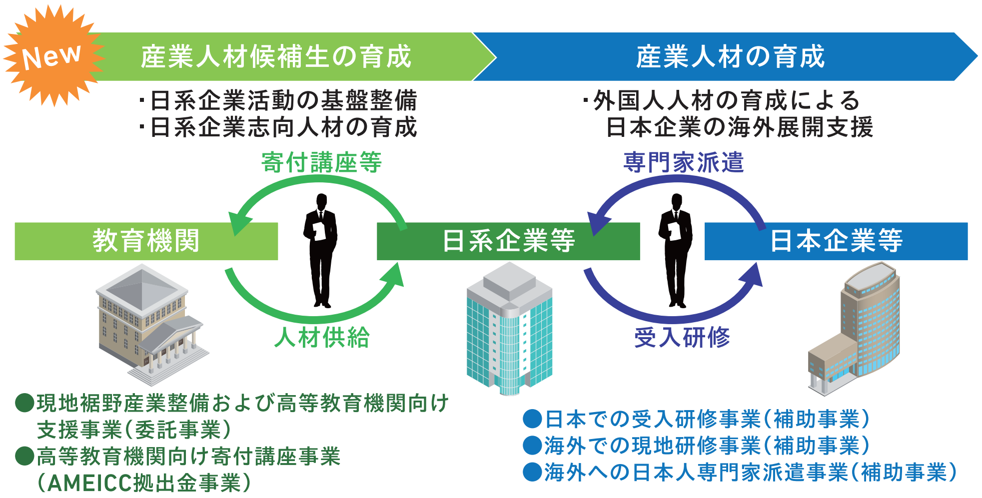
日スリランカ投資促進ロードマップ

スリランカのラニル・ウィクラマシンハ首相と世耕経済産業大臣の会談において、「包括的パートナーシップ」の一環として、日本からスリランカへの投資を促進するためのロードマップの策定が合意されました。ロードマップでは、裾野産業の育成支援、日スリランカのビジネス連携、官民両セクターにおける人材育成支援のため、AOTSがAOTSスリランカ同窓会（JASTECA）とともに、日本的経営管理、技術研修等を行い支援していくことが約束されました。

特集2 高等教育機関との連携による産業人材の育成

設立以来AOTSは、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣を実施し日本企業の海外展開を支援してきました。

一方、日本企業の海外進出が活発化している中、安定的に事業を拡大していくには、現地日系企業の求める人材の更なる底上げをはかるとともに、学生の日系企業への就職意欲を高め、これら人材を安定的に確保することが課題となってきました。こうした課題に対応するため、社会に出る前の高等教育機関の学生を対象とした産業人材候補生の育成支援事業が始まりました。

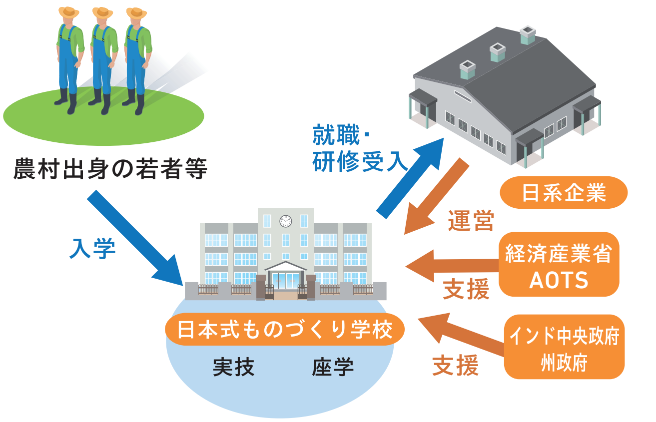


インド・日本式ものづくり学校設立支援

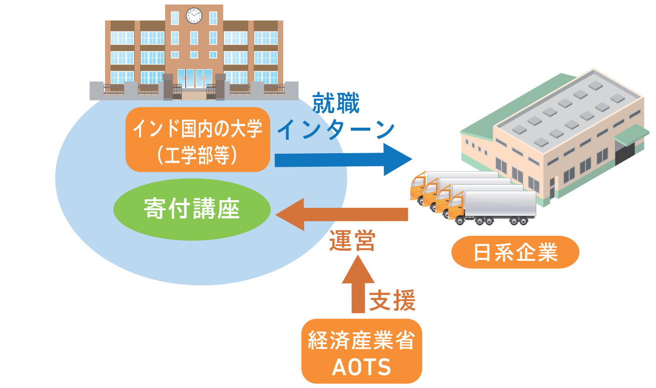
2016年11月、日印首脳会談でインドにおける製造業人材育成が取り上げられるとともに、日印首脳立ち合いの下、世耕経済産業大臣・チノイ駐日大使により「ものづくり技能移転推進プログラムに関する協力覚書」が署名されました。同プログラムは、新たな日本式ものづくり学校（JIM）を設立するとともに、インド国内の大学に寄付講座（JEC）を設置し、10年間で3万人のものづくり人材を育成するものです。

これを受け、2017年度、AOTSでは、経済産業省の委託により技術協力活用型・新興国市場開拓事業（制度・事業環境整備）において、日本式の規律やものづくりの技能をインドの若者に教えるためのJIM用共通教材を作成しました。本教材は単に工学的な内容だけでなく、社会人としての規範/規律などもビジュアルと共に学べ、中等～高等教育者に学びやすい構成となっています。また、JIMおよびJECに専門家を派遣し、現地インストラクター向けのトレーナーズ・トレーニングも実施しました。

日本式ものづくり学校（JIM）



寄付講座（JEC）



特

集

地域別事業報告

テーマ別事業報告

資

料

高等教育機関向け寄付講座事業

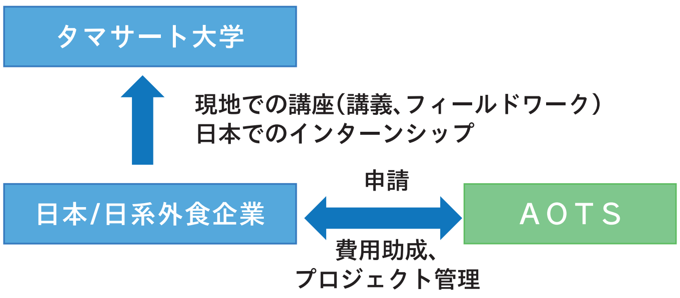
AOTSは、2015年度補正予算の日アセアン経済産業協力委員会（AMEICC）拠出金事業として、アセアンの人材育成事業を実施しました。この拠出金事業の中で、日本企業等の協力により、アセアン各国の大学で学生向けに日本のものづくり技術や企業文化等の紹介、企業でのインターンシップ、ジョブフェア等を通じて、現地日系企業で求められる人材を育成するための「大学寄付講座事業」を実施しました。

○現地一流大学での日本流サービスの紹介（タイ・タマサート大学）

日本の大手フランチャイズ外食企業がタイ・タマサート大学教養学部に「マーケティング、食品安全」に関する寄付講座を開設しました。2017年の6月の第一期生として２１名が寄付講座に参加、現地での講義、フィールドワーク、現地店舗での接客サービス体験しました。さらに優秀な６名を選抜し、日本でのインターンシップを７月に実施、日本では２週間にわたり、食材を育てる工場、加工工場、外食産業の市場と施設見学、営業店舗での実習等が行われました。

実施企業の担当者は、「学生が卒業するのは2018年6月だが、卒業した後に自社に就職してもらえればありがたいが、たとえそうならなくとも、タイであるいはアジアで活躍してもらえればそれでよいと思っている。」とおっしゃっていました。

日本の外食産業がタイを含むアジアで海外展開を進める中、寄付講座事業によりタイの大学生が今回実施した企業をはじめ日本の外食産業界に対する理解を深め、就職意欲の向上につながることを期待しています。



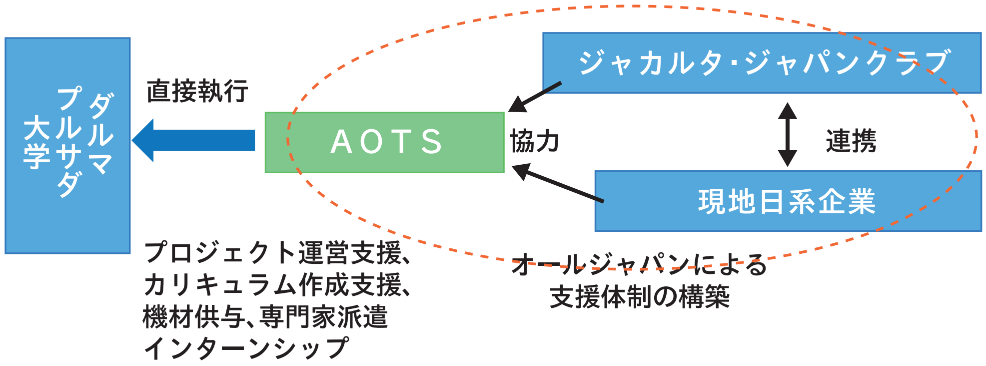
店舗実習（東京）

郊外実習（東京）

○元留学生が設立した大学でのものづくり教育支援（インドネシア・ダルマプルサダ大学）

日本での元留学生が1986年に設立した私立ダルマプルサダ大学は、ジャカルタ市内の東に位置し、そのすぐ先には、ブカシ市が続き、日本の商社が開発した一大工業団地が連なります。自動車や電機など日本の代表的なメーカーから部品製造工場までが集積し、アセアンにおける最も重要な日系企業の集積地のひとつとなっています。

こうした日系企業が会員となった現地の商工会「ジャカルタジャパンクラブ（JJC）」の要請により、ＡＯＴＳが同大学における寄付講座事業を実施しています。カリキュラム開発から教授陣への指導、機材供与、専門家派遣等による講座開設・講義実施全般を支援中です。寄付講座は3年間のプロジェクトですが、プロジェクト終了後も大学が独自で継続・改善できるように、大学講師にプロジェクトに参画してもらい、シラバスや教材の作成、評価基準の見直し、機材の管理方法など、一つ一つ整備を進めています。



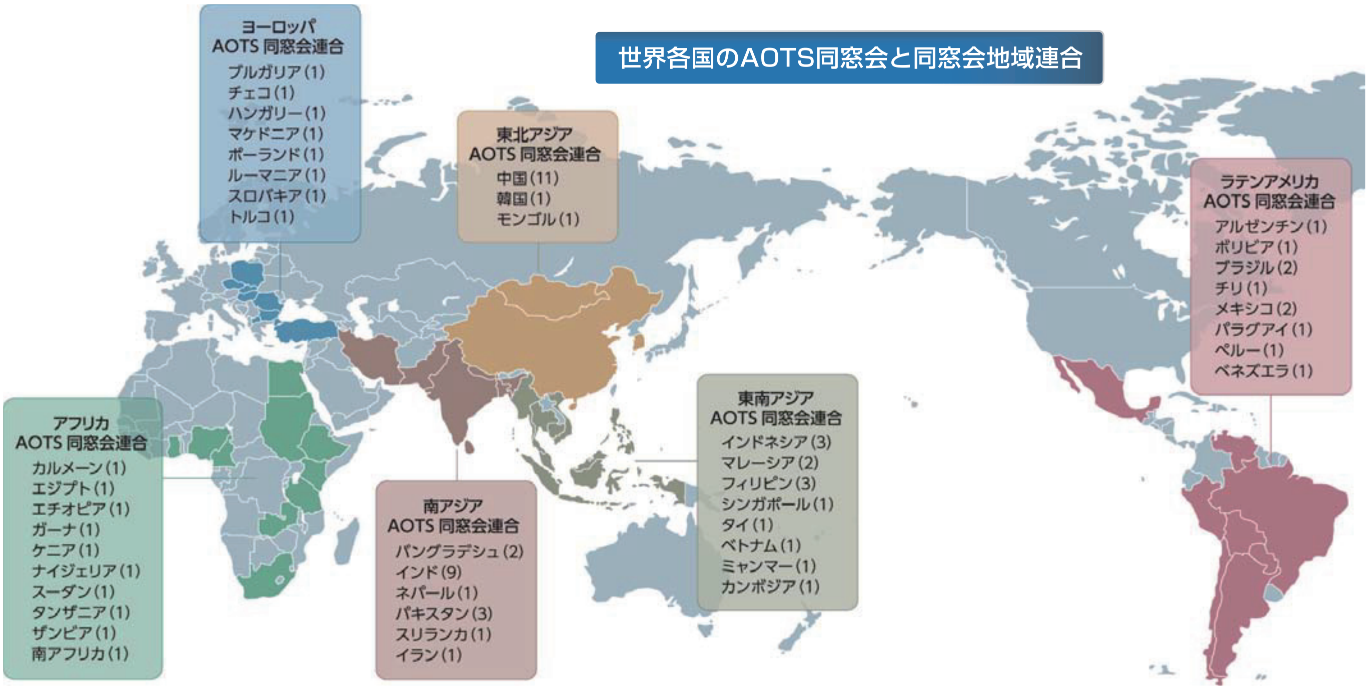
資機材を供与して実現した
ロボットプログラミング演習

特集3 AOTS同窓会の活動

AOTS同窓会とは

AOTS同窓会は、日本で行われた研修の参加者が、帰国後に「AOTS研修」という共通体験をもとに結束し、世界各地で自主的に組織している非営利団体です。AOTS同窓会は現在世界43カ国71カ所に結成されており、人材育成をとおした自国の経済産業の発展と地域社会への貢献とともに、日本や諸外国との友好関係の増進に努めています。同窓会メンバーの中には、各国の政界、経済界で主要な地位を占める要人も多く、それらネットワークを有する同窓会は、AOTSが日本の産業界のグローバル化を支援していく上でも、重要な役割を果たしています。

単に旧交を温める活動にとどまらず独自の社会貢献活動を続けるAOTS同窓会は内外において非常に評価されており、AOTSの人材育成の成果の証であるとともに、一番の財産でもあります。



同窓会の主な活動

1) 会員の親睦活動
- レクリエーション活動

2) 同窓会組織の運営・会員名簿整備
- 機関誌発行
- AOTS海外事務所・日本在外公館等との協力

3) 文化・社会活動 ・日本語教室
- 来日前オリエンテーション
- 各種社会奉仕活動

4) 人材育成・産業振興活動 ・AOTSとの協力事業
- 各種機関との人材育成協力推進（研修生募集・推薦、日本人講師派遣による巡回セミナー）

5) 国際協力活動 ・同窓会間研修生・専門家交換（WNFプログラム）
- 同窓会地域連合会議・同窓会代表者会議参加

事例　アルゼンチン全国５S大賞授賞式

2017年11月23日、ＡＯＴＳアルゼンチン同窓会を含む他の国内関連団体の共催により第2回アルゼンチン全国5S大賞授賞式が開催されました。授賞式では、福嶌駐アルゼンチン日本大使からは、日亜共同宣言に基づきカイゼン展開プロジェクトが発足したこと、アルゼンチンの中小企業を統括する政府機関や産業団体等の大会関係者からは、５Sに着手することの重要性等についてご挨拶を頂きました。参加者はそれぞれの企業での5S導入による変容や成果についてのプレゼンテーションを行い、審査の後、優秀企業賞（金賞・銀賞）、中小企業賞（金・銀・銅賞）の5社が選ばれました。

事例　AOTSモンテレイ同窓会30周年を祝して　第1回メキシコ５S大会を開催

2017年11月9日、AOTSモンテレイ同窓会は設立30周年を迎え、祝賀会を主催しました。

メキシコ北部地域に1986年に創立されたモンテレイ同窓会は、国際協力と人材育成の推進のためAOTSとの共同プログラムを実施し、大企業・中小企業を問わず多くの企業幹部が日本企業の価値観および方法論の研修を受けています。30周年の記念祝賀会にあわせ11月10日に第1回メキシコ5S 大会が開催され、3企業に参加賞が授与されました。同窓会長の話では、モンテレイ地域の企業はまだ５S導入レベルが低いということですが、５S大会を続けることで、同地域企業への啓蒙、レベル向上につながっていくことが期待されます。

事例　AOTSケララ同窓会50周年記念祝賀会

インドのケララ地方では1960年代初頭より研修生が来日し、1968年に同窓会が設立されました。この間、AOTSを通じた来日研修参加者数は650人に上り、現在の会員数は約320名です。

2017年11月30日、AOTSケララ同窓会（ASA Kerala）50周年記念祝賀会がKinfra Hi Tech Parkにある日本ケララ・センターにて、平松駐インド日本大使ほか多数のご来賓を招いて開催されました。また同大使には同センター内にて50周年記念オーディトリアムの開館宣言をしていただきました。約18,000平方メートルの広さをもつ日本ケララ・センターは、建設当時の費用の大部分がケララ同窓会会員有志の寄付によって賄われており、ケララ同窓会が行う人材育成プログラムを評価した州政府により無利子で貸与された区画に建設されています。

50周年記念ホール除幕式

またケララ同窓会は、インドにおける日本の海外直接投資の数がかつてない成長を見せていることの重要性を認識し、特にケララの中小企業レベルの合弁事業を一層推進するため、印日商工会議所ケララ（INJACK）の設立においても主要な役割を担ってきました。

事　例　巡回指導(イラン・エジプト)

同窓会の活性化ならびに現地でのAOTSのプレゼンス向上のため、イランおよびエジプトにおいて日本から講師を派遣する巡回指導を同窓会とともに実施しました。エジプトでは、「設備保全による生産性向上」 をテーマに3日間のコースを開催し120名が参加、イランでは、「生産管理」および「品質管理と人材育成」をテーマに1日ずつ開催し延べ100名が参加しました。

イラン同窓会

事　例　ものづくり人材大使(ベトナム)任命式

ＡＯＴＳ元研修生の活動に積極的動機を与えるとともに、次の世代や周辺国の人材の育成等を奨励するため、2016年10月から「ものづくり人材大使」の任命を行っています。2017年度は、ベトナムの産業発展や日越間友好関係促進のために尽力しているAOTSベトナム同窓会（AVAS）兼経営技術振興協会（IMT）会長ファン・ゴク・トゥアン氏を世耕経済産業大臣ご臨席のもと、ものづくり人材大使に任命いたしました。

事　例　AOTS同窓会の地域連合

43ヵ国71ヵ所にあるAOTS同窓会は、世界6地域（東北アジア、東南アジア、南アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ）でそれぞれAOTS同窓会地域連合を結成し、定期的に会合を持つ等、地域間協力活動を盛んに行っています。2017年度は、東南アジア・南アジア・ラテンアメリカの地域連合会議が開催されました。

○東南アジアＡＯＴＳ同窓会連合（Federation of Southeast Asian AOTS Alumni Societies :略称ＦＯＳAAS）

2017年10月20日、21日マレーシア・クアラルンプールにて第13回FOSAAS会議が開催され、7か国１０同窓会（マレーシア（KL、ペナン）、ミャンマー、シンガポール、タイ、インドネシア（ジャカルタ、メダン）、フィリピン（マニラ、ビサヤ）、ベトナム）から31名が出席しました。各国同窓会報告の後、今後の域内およびAOTSとの協力強化について活発な議論がなされ、「今回の幹事同窓会であるマレーシア同窓会のコーディネートによりFOSAASメンバー向けニュースレターをFacebook上に掲載する」「同窓会の枠を超えてメンバーが集まるプラットフォームとしてFacebookを利用する」と決議されました。また次回はジャカルタ同窓会が幹事となることが決定されました。

特集
地域別事業報告
テーマ別事業報告
資料

○南アジアAOTS同窓会連合
(South Asia Federation of AOTS Alumni Societies:　略称SAFAAS)

2017年10月27日、28日　スリランカ・コロンボにて第12回ＳＡＦＡＡＳ会議が行われ、5か国12同窓会（スリランカ、インド（デリー、ムンバイ、ハイデラバード、ケララ、プネ、バンガロール、チェンナイ）、バングラデシュ（ダッカ、チッタゴン）、ネパール、パキスタン（ラホール））から170名の参加がありました。

今回は「AOTSの指導を受けながら、影響力を持つビジネスリーダーを涵養する」をテーマに開催され、分科会にて討論を行いました。優秀事例発表会の制定、AOTSとの合同調査による地域内研修ニーズの確認等を含む決議案を採択し、次回開催地としてインド・チェンナイを選定しました。27日夕食会には財務担当国務大臣、28日閉会式は国家政策経済副大臣を主賓として迎えました。また会議と平行し、WNFプログラム*の一環として若手同窓会幹部養成ワークショップが開催されました。

*AOTS同窓会間の南南協力活動・同窓会や関係者、賛同者からの寄付金によって設立されたWＮＦ基金をもとに、同窓会間での人的交流活動を実施・推進している。

○ラテンアメリカAOTS同窓会連合
(Federation of Latin American AOTS Alumni Societies: 略称ＦＥＬAAS)とペルー５S大会

11月6日、7日　ペルー・リマにおいて第13回ＦＥＬＡＡＳ会議が開催され、8か国10同窓会（ペルー、アルゼンチン、ブラジル（サンパウロ、リオデジャネイロ）、メキシコ（メキシコシティ、モンテレイ）、ベネズエラ、エクアドル、チリ、パラグアイ）より11名の参加がありました。AOTSの同窓会連携強化方針を受け、FELAASおよび各国は各種事業において積極的な連携を進めることを確認しました。

またFELAAS地域では、５S・改善の普及がひとつの共通のテーマとなっており、ペルー・アルゼンチン・メキシコで同窓会主体の５Ｓ大会が開かれています。本会議とあわせてペルー同窓会主催のもと第4回ペルー５S大会が開催され、計17団体へ金・銀・銅賞が授与されました。さらに今回はWNFプログラムによりインド・チェンナイより５Ｓ専門家が招聘され、基調講演としてインドでの５S・改善実践例を共有しました。今後のラテンアメリカ５S大会の設立を目標に、統一の評価基準を定める５S技術委員会の設置を決めています。